

平成25年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 平成25年度第1回理事会

日 時： 平成25年6月7日（金）10時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成24年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 平成25年度事業計画変更及び予算補正について
議案第3号 平成25年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2) 平成25年度第1回評議員会

日 時： 平成25年6月21日（金）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成24年度決算報告について
議案第2号 平成25年度事業計画変更及び予算補正について
議案第3号 理事の選任について

(3) 平成25年度第2回理事会

日 時： 平成25年6月21日（金）16時30分～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団理事長の選定について
議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団常務理事兼事務局長の選定について

(4) 平成25年度第3回理事会

日 時： 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団定款第33条第2項の規定に基づき決議の省略の方法による。（平成25年7月）

議 事： 議案第1号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団職員の給与の特例に関する規程の一部改正について

(5) 平成25年度第4回理事会

日 時： 平成26年3月17日（月）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成25年度事業計画変更及び補正予算について
議案第2号 平成26年度事業計画及び収支予算について
議案第3号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について
議案第4号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団賛助会員運営規程の制定について
議案第5号 平成25年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(6) 平成25年度第2回評議員会

日 時： 平成26年3月24日（月）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成25年度事業計画変更及び補正予算について
議案第2号 平成26年度事業計画及び収支予算について
議案第3号 理事の選任について
議案第4号 評議員の選任について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催

29公演40回（定期公演22回，企画公演9回，研究公演1回，普及公演8回）を実施した。

定期公演（18公演 22回）

公演名	公演数	回数
組踊	7	7
琉球舞踊	7	9
三線音楽（民謡・古典音楽）	1	1
沖縄芝居	2	4
民俗芸能	1	1

企画公演（7公演 9回）

公演名	公演数	回数
組踊（新作組踊等）	1	1
沖縄芝居	2	4
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席、能）	2	2
舞踊	1	1

研究公演（1公演 1回）

公演名	公演数	回数
組踊	1	1

普及公演（3公演 8回）

公演名	公演数	回数
組踊鑑賞教室	3	8

日程・演目・出演者

期日等				公演名・演目	出演者
1	定期公演	4月13日	昼	琉球舞踊 八重山舞踊 ～八重山の歌と踊り～ 「蔵ぬ花節」「赤また一節」「黒島口説」他	平良江利子、米盛吟子、黒石高子、平良江利子、米盛吟子、大底美紀、黒島美希他
2	定期公演	4月28日	昼	組踊 組踊「手水の縁」 第一部 舞踊「本嘉手久節」「日傘踊り」他 第二部 組踊	金城啓一郎、新垣悟、大浜暢明、東江裕吉、田口博章、宮城茂雄、親泊邦彦他
3	定期公演	5月11日	昼	琉球舞踊 「琉舞鑑賞会（うりずんの舞）」 「稲まづん」「ぜい」「前の浜」「金細工」	山城一奈、吉元貴子、下地智子、石川祥子、伊佐枝梨奈、山口南美、宮城由紀子
4	定期公演	5月18日	夜	三線音楽 「琉球弧の島唄」 「まへーらつい節」「とうがにあやぐ」「物知り節」「親ぬ心」他	宮良康正、宮國喜効、徳原清文、大城美佐子、坪山豊
5	研究公演	5月26日	昼	組踊 「村々に伝わる『組踊』～本部町字瀬底～」 第一部 舞踊「恩納節・金武節」他 第二部 組踊「伏山敵討」	本部町字瀬底有志

期 日 等				公演名・演目	出演者
6	定期公演	6月8日 6月9日	昼 昼	琉球舞踊 「男性舞踊家の会」 「かぎやで風」「八重瀬の万歳」「諸鈍」「ゆうばんた」「よ一加那よー」「あら穂花」「揚作田」「遊び舞」「赤田風」「諸鈍」「花風」他	大湾三瑠、阿嘉修、親泊邦彦、海勢頭あける、佐辺良和、金城真次、平田智之、大湾三瑠、真境名律弘、宮城茂雄他
7	普及公演	6月16日	昼	組踊 「社会人のための組踊鑑賞教室」 第一部 解説「組踊の楽しみ方」 第二部 組踊「万歳敵討」	知花小百合 佐辺良和、宮城茂雄、宇座仁一、親泊邦彦、金城真次、田口博章、仲村圭央、岸本隼人、玉城匠、天願雄一、山城峻称
8	定期公演	6月29日 6月30日	夜 昼	沖縄芝居 歌劇「泊阿嘉」 第一部 舞踊「浜千鳥」「越来よー」他 第二部 歌劇	伊志嶺忍、永田加奈子、金城真次、知念亜希、赤嶺啓子、宇座仁一他
9	定期公演	7月13日	昼	組踊 組踊「貞考婦人」 第一部 舞踊「浜千鳥」「取納奉行」他 第二部 組踊	高江洲清勝、金城求、新垣悟、嘉手苺林一、平田智之、金城真次他
10	企画公演	7月28日	昼	新作組踊 「伊野波節異聞」 「平敷屋朝敏～哀・愛しや～」	宮城茂雄、神谷武史、宇座仁一、金城真次、平田智之、金城陽一、岸本隼人、新垣悟、玉城匠他 大湾三瑠、東江裕吉、小嶺和佳子、阿嘉修、石川直也、川満香多、天願雄一
11	普及公演	8月10日	昼	普及公演 「親子のための組踊鑑賞教室」 解説「組踊の楽しみ方」 組踊「銘苺子」	知花小百合 田口博章、親泊久玄、石川直也、岸本隼人、宮里光也、山城峻称他
12	企画公演	8月17日 8月18日	夜 昼	沖縄芝居 喜劇「ペーちゃんの恋人」～モリエール「守銭奴」より～	宇座仁一、平敷勇也、花岡尚子、呉屋かなめ、高宮城実人、嘉陽田朝裕、宮城茂雄、金城真次、阿嘉修 石川直也他
13	定期公演	8月25日	昼	組踊 組踊「糸納敵討」 第一部 舞踊「汀間とう」「加那よー」他 第二部 組踊	名嘉正光、金城真次、親泊邦彦、真境名律弘、東江裕吉、宮城茂雄、海勢頭あける、石川直也、金城清一他
14	定期公演	9月7日	昼	琉球舞踊 「琉舞鑑賞会(豊穠の舞)」 「伊野波節」「揚作田節」「小浜節」「糸満乙女」他	大田礼子、金城伊都子、宮里ゆかり、嶺井清美、宮城裕子、知花恵子、仲程めぐみ、仲真あけみ他
15	定期公演	9月15日	昼	組踊 組踊「花売の縁」 第一部 舞踊「揚口説」「前の浜」 第二部 組踊	金城求、嘉手苺林一、田口博章、真境名正憲、海勢頭あける、神谷武史他

期 日 等				公演名・演目	出演者
16	定期公演	9月21日	昼	琉球舞踊 重要無形文化財保持者公演「琉球舞踊特選会」 「作田」「瓦屋節」「浜千鳥」「南洋浜千鳥」「八重瀬の万歳」「清ら百合」「本花風」「加那よー」「花風」「うむい」「伊野波節」「恋し浜ユーバンタ」	玉城節子、宮城幸子、親泊興照、佐藤太圭子、島袋光晴、又吉静枝、谷田嘉子、玉城秀子、金城美枝子、喜納幸子、宮城能鳳、志田房子
17	定期公演	10月19日	昼	組踊 組踊「西南敵討」 第一部 舞踊「取納奉行」「汀間とう」他 第二部 組踊	東江裕吉、石川直也、嘉手苺林一、親泊久玄、親泊興照、金城真次、儀保政彦、平田智之、佐辺良和、川満香多他
18	普及公演	10月25日	朝昼	組踊 「生徒のための組踊鑑賞教室」 解説「組踊の楽しみ方」 組踊「万歳敵討」	知花小百合 石川直也、川満香多、玉城盛義、新垣悟、宮城茂雄、田口博章、平田智之他
19	企画公演	11月9日	夜	本土の芸能 「国立劇場寄席」 お囃子、寄席囃子の実演 解説、落語、漫才、紙切り	柳家小三治、林家二楽、柳家小せん、春風亭柳朝、松尾あさ、入船亭遊一、ホンキートンク
20	普及公演	11月14日 11月15日	朝昼 朝昼	組踊 「生徒のための組踊鑑賞教室」 解説「組踊の楽しみ方」 組踊「万歳敵討」	知花小百合 石川直也、川満香多、親泊久玄、新垣悟、岸本隼人、嘉数幸雅、平田智之他
21	企画公演	11月24日	昼	アジア・太平洋地域の芸能 「アジア・太平洋地域の芸能 ータイ舞踊ー」 第一部 タイ各地域の伝統舞踊 第二部 タイの古典舞踊劇	バーンラムタイ音楽舞踊学校所属舞踊家 タイ国文化省演劇芸術単科大学推薦の舞踊家及び演奏者
22	企画公演	12月7日	昼	琉球舞踊 企画公演「創作舞踊」 第一部 過去の受賞作「子守節」「春華」「てだ心」 大賞「伊野波女童」 第二部「赤馬節」「ヒートゥドーイ」他	高嶺美和子、田口博章、玉城千枝、仲程めぐみ 宮城流美能留会、阿波連本流啓扇会他
23	定期公演	12月21日 12月22日	夜昼	沖縄芝居 史劇「謝名原の乱」	玉城盛義、神谷武史、宇座仁一、天願雄一、玉城匠、小嶺和佳子、伊良波さゆき、島袋光尋、石川直也他
24	定期公演	1月11日 1月12日	昼昼	琉球舞踊 「新春琉舞名人選」 「ぜい」「天川」「下り口説」「本花風」「浜千鳥」「諸鈍」「浜千鳥」「瓦屋」「高平良万歳」「うむい」「むんじゅる」「いちゅび小」「花風」「かせかけ」「波平大主道行口説」「瓦屋」「本花風」「作田」「本嘉手久節」「むんじゅる」「取納奉行」「南洋浜千鳥」「花風」他	宮城豊子、花岡勝子、又吉世子、大城和子、宮城能造、漢那七子、宜保雅子、玉城千枝、玉城静江、安次富紀子、嘉数紀美子、眞境名結子、山城洋子、比嘉美好、金城清一、山田多津子、我那覇則子、宮里敏子、渡久地美代子、島袋君子、金城光子、比嘉涼子、古謝弘子

期 日 等				公演名・演目		出 演 者	
25	企画公演	1月25日 1月26日	夜 昼	沖縄 芝居	【10周年記念特別公演】 歌舞劇「今日ぬ誇らしや や」	平良進、大湾三瑠、佐辺良和、宮城茂雄、知念亜希、春洋一、玉城盛義、小嶺和佳子、川満香多、宇座仁一、仲嶺眞永、高宮城実人、瀬名波孝子、真栄田文子、伊良波さゆき他	
26	定期公演	2月8日	昼	組踊	【10周年記念特別公演】 組踊「大川敵討」 第一部 舞踊「天川」他 第二部 組踊	宮城能鳳、川満香多、東江裕吉、石川直也、宇座仁一、前當正雄、儀保政彦、佐辺良和、宮城茂雄、新垣悟、玉城匠、神谷清一他	
27	定期公演	2月15日	昼	琉球 舞踊	「琉舞鑑賞会(初春の舞)」 「女こてい節」「浜千鳥」 「加那よ一天川」「馬山川」他	池城智子、比嘉睦江、花城江美子、知名文子、嘉陽則子、上地美智子、根路銘広美、嘉手苺幸代他	
28	定期公演	2月23日	昼	民俗 芸能	「沖縄の民俗芸能(泡瀬 の京太郎等)」 高志保馬舞、鳥刺し舞と 念仏歌、狂言「京太郎」、 泡瀬の京太郎	高志保馬舞保存会、名護市 呉我区、新城亘十遊行芸能 座、長浜伝統芸能保存会、 泡瀬京太郎保存会	
29	企画公演	3月9日	昼	本土の 芸能	【10周年記念特別公演】 能「道成寺 赤頭」	坂井音雅、宝生欣哉、野口能弘、御厨誠吾、山本東次郎、山本則俊他	
30	定期公演	3月22日	昼	組踊	組踊「護佐丸敵討」・「女 物狂」	金城真次、玉城匠、赤嶺正一、平田智之、儀保政彦、宮城昭博、具志堅朝堅、比嘉克之 親泊興照、島袋由妃、親泊久玄、比嘉良雄、池間隼人、真境名律弘、伊波心、古堅聖也、古堅聖尚	

※10月13日の民俗芸能公演「道の島々から(与論の十五夜踊)」は、台風24号接近のため中止した。10月24日の普及公演「生徒のための組踊鑑賞教室」は、台風27号接近のため中止した。

自主公演入場率

	月 日	公演名		実 績			計 画		
				座席数	入場者数	入場率	座席数	目 標 入場者数	目 標 入場率
				(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d)/(c)
1	4月 13日	八重山舞踊	昼	623席	294人	47.2%	623席	316人	50.7%
2	28日	手水の縁	昼	569席	353人	62.0%	565席	318人	56.3%
3	5月 11日	うりずんの舞	昼	249席	178人	71.5%	249席	153人	61.4%
4	18日	琉球弧の島唄	夜	249席	125人	50.2%	249席	128人	51.4%
5	26日	村々に伝わる組踊	昼	623席	561人	90.0%	565席	405人	71.7%
6	6月 8日	男性舞踊家の会	昼	623席	291人	46.7%	623席	348人	55.9%
7	10日	男性舞踊家の会	昼	623席	345人	55.4%	623席	348人	55.9%

	月 日	公演名		実 績			計 画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目 標 入場率 (d)/(c)
8	16日	組踊鑑賞教室（社会人）	昼	568席	412人	72.5%	565席	434人	76.8%
9	29日	泊阿嘉	夜	621席	524人	84.4%	579席	347人	59.9%
10	30日	泊阿嘉	昼	623席	567人	91.0%	566席	347人	61.3%
11	7月 13日	貞孝婦人	昼	569席	322人	56.6%	565席	318人	56.3%
12	28日	伊野波節異聞・平敷屋朝敏	昼	623席	542人	87.0%	619席	316人	51.1%
13	8月 10日	組踊鑑賞教室（親子）	昼	569席	367人	64.5%	578席	434人	75.1%
14	17日	喜劇ペーちゃんの恋人	夜	568席	333人	58.6%	579席	290人	50.1%
15	18日	喜劇ペーちゃんの恋人	昼	568席	373人	65.7%	566席	290人	51.2%
16	25日	糸納敵討	昼	569席	291人	51.1%	565席	318人	56.3%
17	9月 7日	豊穰の舞	昼	249席	224人	90.0%	249席	153人	61.4%
18	15日	花売の縁	昼	569席	446人	78.4%	565席	318人	56.3%
19	21日	琉球舞踊特選会	朝	623席	549人	88.1%	623席	411人	66.0%
20	10月 13日	道の島々から	昼	- 席	- 人	- %	619席	474人	76.6%
21	19日	西南敵討	昼	567席	366人	64.6%	565席	318人	56.3%
22	24日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	- 席	- 人	- %	578席	434人	75.1%
23	24日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	- 席	- 人	- %	578席	433人	74.9%
24	25日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	578席	443人	76.6%	578席	434人	75.1%
25	25日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	93人	16.1%	578席	433人	74.9%
26	11月 9日	国立劇場寄席	夜	623席	557人	89.4%	623席	506人	81.2%
27	14日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	578席	279人	48.3%	578席	434人	75.1%
28	14日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	432人	74.7%	578席	433人	74.9%
29	15日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	578席	497人	86.0%	578席	434人	75.1%
30	15日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	264人	45.7%	578席	433人	74.9%
31	24日	タイ舞踊	昼	623席	298人	47.8%	619席	316人	51.1%
32	12月 7日	創作舞踊	昼	623席	200人	32.1%	619席	316人	51.1%
33	21日	謝名原の乱	夜	623席	284人	45.6%	579席	347人	59.9%
34	22日	謝名原の乱	昼	623席	482人	77.4%	566席	347人	61.3%
35	1月 11日	新春 琉舞名人選	昼	623席	345人	55.4%	623席	411人	66.0%
36	12日	新春 琉舞名人選	昼	623席	378人	60.7%	623席	411人	66.0%
37	25日	今日ぬ誇らしゃや	夜	568席	454人	79.9%	579席	463人	80.0%
38	26日	今日ぬ誇らしゃや	昼	579席	494人	85.3%	566席	463人	81.8%
39	2月 8日	大川敵討	昼	569席	472人	83.0%	565席	462人	81.8%
40	15日	初春の舞	昼	249席	202人	81.1%	249席	153人	61.4%
41	23日	沖縄本島民俗芸能祭	昼	623席	559人	89.7%	619席	474人	76.6%
42	3月 9日	道成寺	昼	623席	557人	89.4%	619席	506人	74.8%
43	22日	護佐丸・女物狂	昼	569席	471人	82.8%	565席	318人	56.3%
		合 計		22,454 席	15,224 人	67.8 %	23,938 席	15,745 人	65.8 %

※計画時の座席数は、(a) と異なる（合計23,938席）。

（2）公演事業委員会の開催

平成26年度開催の自主公演のあり方について検討するため、公演事業委員会を平成25年4月23日、平成26年3月19日に開催した。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（マグネットコンテンツのつくり込み）

沖縄県文化観光戦略推進事業助成事業の沖縄芸能マグネットコンテンツ育成に関する助成を活用し、観光誘客を目指し、子の会による「守礼の心（平成25年7月31日～8月4日）」と嘉数芸術監督作品「かりゆし・かりゆし～恋するシーサー（平成26年3月2日～4日）」及び「組踊版・スイミー（平成26年3月9日～11日）」を上演した。

(4) 国立劇場おきなわ連携活用事業

沖縄県と国立劇場おきなわの共催により、国立劇場おきなわ開場10周年特別公演及び当劇場の公演を鑑賞する機会が少ない地域（H25年11月26日南城市文化センター・シュガーホール、平成26年3月29日宜野座村文化センターがらまんホール）において県内巡回公演を実施した。

(5) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

(ア) 公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。

(イ) チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（405団体）にチラシを配布した。

(ウ) 那覇（167）と浦添（42）市内の自治会長会へ奇数月にチラシを配布した。

(エ) 沖縄県レンタカー協会賛助会に加盟し、協会加盟営業所に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

(オ) 沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

(ア) 劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

(イ) 沖縄都市モノレールの窓上広告として、隔月ごとに施設案内及び公演案内のポスターを掲示した。また、モノレール駅舎掲示板に公演案内ポスターを掲示した。

(ウ) 那覇空港内2カ所に電照看板に劇場案内を掲出した。

(エ) 沖縄都市モノレール（ゆいレール）駅全15駅に設置された路線図等看板に、劇場案内を掲出した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	琉球新報と沖縄タイムスにおいて、隔月ごとに公演広告を掲載した。琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぶらぎ」に公演案内を掲載した。沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能を紹介するコーナーにおいて公演案内とチケットプレゼントを行った。
ラジオ	ラジオ沖縄「民謡の花束」内での公演告知（毎週）、RBC-iラジオ、FM沖縄、NHK「旅するラジオ」
Web	「ぴらつか暦」「ふくおかサポートネット」「Yahoo!ロコ」「古典文化の友」「長尾さんの観光案内所」
雑誌	「YASA」、「話くわっちー」、「ぴらつか暦」、「ACT4」、「uchina」（以上月刊誌）、「ちゅらナビ」、「モモト」、「にぎやか談話室」、「日本の祭り」（以上季刊誌）、「沖縄のまつり2013」、「沖縄観光先読みカレンダー2013」、「浦添市勢要覧」（年1回）への公演情報掲載

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

新聞	沖縄タイムス、琉球新報、宮古新報、宮古毎日新聞、JapanUpdate（地元英字新聞）
テレビ	NHK、OTV、QAB、RBC
ラジオ	ラジオ沖縄、RBCiラジオ（スポットCM）、FM沖縄
Web	文化庁月報、タイ国政府観光庁
雑誌	「南ぬ風」（沖縄美ら島財団広報誌）、「Island Guide」（英語版沖縄ガイド）、「おきなわ倶楽部」（県内月刊情報誌）、「コーラルウェイ」（JTA商事）、「美ら島沖縄」（沖縄県広報誌）、「おきなわ倶楽部」、「そらくる沖縄」

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 県庁ロビー展

県庁1階ロビーでパネル及びポスターの展示、チケット予約及び友の会入会案内等を行った（平成25年8月10日～16日）。

(イ) パレットくもじロビー展

パレットくもじ1階ロビーで、パネル及びポスターの展示を行った（平成25年12月26日～平成26年1月10日）。

(ウ) 静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップでの公演宣伝・劇場紹介

グランシップにおいて、公演ポスター掲示やチラシ配布、琉球芸能に関する資料の展示などを行った。（平成26年2月21日）

(エ) 沖縄県立図書館での公演宣伝・劇場紹介

沖縄県立図書館のロビーにて公演ポスター掲示やチラシ配布、琉球芸能に関する資料、劇場の10年間の歩みを紹介する資料等の展示を行った。（平成26年1月14日～22日）

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 日本芸術文化振興会の月刊誌「振興会ニュース」に公演案内を毎月掲載した。

(ウ) 2014年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び及び配付を行った。

(エ) 1月琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」の新春公演では、延べ2日間で計200名に呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント（カレンダー、劇場グッズなどの詰め合わせ）を行い、新春公演の雰囲気を盛り上げた。

(オ) 6月沖縄芝居公演「泊阿嘉」で一般を対象とする公開稽古を実施した。

(カ) 8月企画公演「ペーちゃんの恋人」、9月の琉球舞踊公演「琉球舞踊特選会」と組踊公演「花売の縁」、10月の組踊公演「西南敵討」、12月の沖縄芝居公演「謝名原の乱」と企画公演「創作舞踊」では、延べ8日間で計800人にブクブク茶の呈茶を行い、公演前の気分を盛り上げた。

(キ) 6月沖縄芝居公演「泊阿嘉」、8月特別公演「守礼の心」、11月企画公演「タイ舞踊」では、公演にちなんだ物産販売やパネル展示などを行い公演を盛り上げた。

(6) バックステージツアーについて

地域への還元を図り劇場への理解を深める機会を設けるため、「夏休み親子劇場探検ツアー及び組踊ワークショップ」を平成25年7月31日（水）～8月4日（日）計5回実施し、合計189名が参加した。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業「第3期組踊研修」で次の内容を実施した。

(1) 研修の実施（第3期組踊研修：平成23年4月～平成26年3月）

組踊（立方・地方）：第3期（9名）の3年目の研修を実施。

立方4名及び地方5名（歌三線4名、太鼓1名）

9名全員が研修を修了した。（研修修了式：平成26年3月13日）

(2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、比嘉聰ほか（総勢15名）

(3) 養成状況

ア 主な授業 組踊実技（立方、三線、太鼓）、副実技（琉球舞踊、箏、胡弓、太鼓）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球方言基礎、詞章研究、発表会等

イ 授業回数 合計338回

- ・組踊実技の実施（90分の150回）
- ・副実技の実施（90分の41回）
- ・基礎実技の実施（90分の108回）
- ・講義研修の実施（90分の24回）
- ・鑑賞・見学研修の実施（90分の9回）
- ・発表会の実施（90分の4回）
- ・講話等の実施（90分の2回）

ウ 休暇等 夏季休暇 平成25年8月16日（金）～8月25日（日）

冬季休暇 平成25年12月15日（日）～平成26年1月5日（日）

(4) 研修生発表会の実施

ア 第5回組踊研修生発表会：平成25年10月3日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「女物狂」、独唱「二揚下出し仲風節」、「二揚下出し述懐節」、
「二揚仲風節」、「二揚述懐節」

鑑賞者数：506名

イ 組踊研修修了発表会：平成26年3月5日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「花売の縁」

鑑賞者数：508名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

ア 組踊研修講師会議の実施（年間4回）

(6) 組踊研修終了生発表会の実施

ア 組踊研修修了生第3回発表会：平成25年11月30日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊：「雪払い」、琉球舞踊：「かぎやで風」、「坂本節」、「八重瀬の万歳」、
斉唱：「永良部節」、「中作田節」

鑑賞者数：392名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	10	157	8	175
逐次刊行物	冊	100	226	16	342
筋書・番組	冊	0	2		2
公演・演出台本	冊	0	80	19	99
上演資料集	冊	0	15	2	17
合 計		110	480	45	635

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真	枚	0	1	0	1
写真データCD/DVD	枚	0	3	23	26
録画テープ (VHS)	本	0	1	0	1
録画テープ (DVCAM)	本	0	0	60	60
録画テープ (HDCAM)	本	0	0	60	60
DVD	枚	26	10	156	192

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
録音テープ	本	0	1	0	1
レコード・CD	枚	7	15	0	22
組踊等衣裳	点	0	0	0	0
ポスター	枚	0	62	56	118
チラシ	枚	0	2	0	2
展示図録	点	2	8	0	10
冊 子	点	0	393	8	401
その他		0	3	0	3
合 計		35	499	363	897

芸能資料の主な寄贈者

氏 名	主な寄贈品
株式会社 映像製作 海燕社	映画フィルム「イザイホウ」
琉球大学	大学紀要
沖縄県立芸術大学	大学紀要

(2) 上演資料集

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料・論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。「糸納敵討」「西南敵討」「女物狂」の3演目を刊行し、各関係機関・研究機関へ配付した。各200冊刊行。

(3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

<企画展実績>

期 間	名 称	内 容
平成25年 4月13日（土） ～6月23日（日） 72日	第一回 企画展 「琉球舞踊の魅力」	沖縄の伝統芸能の華といえる琉球舞踊の魅力について、踊り衣裳や小道具などの展示を通して紹介。
平成25年 7月13日（土） ～9月22日（日） 72日	第二回 企画展 「組踊～花売の縁～」	組踊「花売の縁」をテーマとした。能「芦刈」や狂言「靱猿」など本土の芸能との関わりや、細やかな人情の溢れる本作の魅力を扮装や小道具の展示を通して紹介。
平成25年 10月5日（土） ～12月15日（日） 72日	第三回 企画展 「奄美の仮面と芸能」	沖縄と日本本土、双方の影響を受けながら、独自の文化・芸能を育んだ奄美諸島に継承されている「仮面の芸能」を展示紹介。
平成26年 1月11日（土） ～3月16日（日） 65日	第四回 企画展 「能と組踊」	組踊を創作した玉城朝薫も自ら能を舞ったと記録されるが、組踊には能の影響が随所に見られる。国立能楽堂の協力の下、能と組踊の関連する作品の資料を展示。

4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）：9,997人（281日間）

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 平成25年度自主公演28公演、組踊研修終了発表会1公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（5回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計382人。

(5) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

ア 活用実績（平成25年度）

レファレンスルーム利用者1,713人（うち一般734人）

映像視聴995件（1,005時間）、映像・音声複製23件（52時間）

公開資料：平成16年度～25年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(6) 沖縄芸能史年表

沖縄の伝統芸能の上演に関する芸能史を調査編集し、報告書を作製した。

<実績>

・県内刊行の新聞『琉球新報』等4紙から琉球・沖縄に関する芸能記事を調査編集し、沖縄芸能史年表「第十集」として報告書を作製・刊行した。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

平成25年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	4	6	
演劇	1	2	
舞踊	25	41	
古典音楽	3	3	
民謡	0	0	
民俗芸能	2	4	
その他	10	18	講演会等
計(1)	45	74	利用可能日数110日
目標日数		77	
達成率		96%	

※平成24年度の実績と比較すると、件数で6件の増、使用日数で19日の増。

イ 小劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	5	7	
演劇	15	22	
舞踊	30	51	
古典音楽	10	16	
民謡	2	3	
民俗芸能	3	6	
その他	33	38	講演会、朗読、研修会
計(2)	98	143	利用可能日数186日
目標日数		77	
達成率		186%	

※平成24年度の実績と比較すると、件数で10件の増、使用日数で24日の増。

ウ 大劇場+小劇場

合計 (1)+(2)	件数	使用日数	達成率	※平成25年度計画における 目標使用日数：154日
	143	217	140%	

※平成24年度の実績と比較すると、件数で16件の増、使用日数で41日の増。

エ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	157件	620.5時間
中稽古室	329件	1,004.0時間
第1小稽古室	201件	849.5時間
第2小稽古室	417件	1,271.0時間
第3小稽古室	277件	805.5時間
第5小稽古室	295件	747.0時間
第6小稽古室	387件	1,023.5時間
交流プラザ	101件	284.0時間
養成研修室	110件	303.5時間
会議室	14件	35.0時間
合計	2,288件	6,943.5時間

※平成24年度の実績と比較すると、件数で241件増加し、使用時間で705時間増加している。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

- ア 施設利用の情報をホームページに掲載し、また、貸劇場の空き日状況を掲載し、その更新頻度を上げた。
- イ 劇場利用のご利用案内を校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ウ 自主公演チラシ、国立劇場おきなわ友の会報誌、ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 平成25年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内を増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 開場10周年記念事業

(1) 国立劇場おきなわ開場10周年記念式典等の開催

- ア 日時：平成26年1月18日（土）
- イ 場所：国立劇場おきなわ大劇場
- ウ 内容：「記念式典」14時～14時40分
「祝賀公演」15時～16時
「祝賀会」16時15分～17時30分
- エ 実施状況：秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、招待者、関係者合わせて443名の参加の下、滞りなく実施した。
- オ 出席状況：
 - (ア) 招待者（355名）内閣府、文部科学省、文化庁、日本芸術文化振興会、沖縄県議会議員、沖縄県関係者、市町村関係者、芸能関係者及び元当財団関係者が出席した。
 - (イ) 招待者以外（88名）宮内庁関係者、登壇者及びその関係者、主催者及びマスコミ関係者が出席した。

(2) 国立劇場おきなわ開場10周年を記念し「国立劇場おきなわ10年誌」を二千部発行し、関係機関等に配布した。

7 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

- ア 警備業務請負契約
- イ 清掃業務請負契約
- ウ 施設運転監視業務請負契約
- エ 舞台技術常駐業務請負契約
- オ 劇場案内等運営業務請負契約

(2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構保守請負契約
- エ 音響設備定期保守業務請負契約
- オ 照明設備定期保守業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

8 前述の業務に附帯する業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

〔実績〕会員総数2,073名（平成26年3月末現在）

会 員 数 推 移														25年度 合計
	25年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月	
新規 入会者	97	77	82	126	65	58	68	63	62	82	112	153	227	1,175
退会	63	102	83	57	50	57	60	78	104	152	354	91	107	1,295
会員数	2,193	2,168	2,167	2,236	2,251	2,252	2,260	2,245	2,203	2,133	1,891	1,953	2,073	2,073

※会員数＝前月末会員数＋新規入会者－退会者

※新規入会者＝新規入会者＋未更新者（更新月が前月まで）の更新

※退会＝退会者＋当月更新月の未更新者

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

(ア)「本島中部西歌碑めぐりバスツアー」：平成25年11月16日（土）参加人数40名、平成25年11月23日（土）参加人数39名、バスにて南部地区の歌碑を巡り、現地にて歴史ガイドが解説を行った。

(イ)「半日バスツアー及び公演鑑賞会」：平成25年10月19日（土）、参加人数34名、バスにて末吉公園、玉城朝薫の墓、浦添グスク等を巡り、現地にて組踊の解説を行った。その後、劇場において公演鑑賞（「西南敵討」）を行った。

(ウ)「新春講演会」：平成26年2月8日（土）、参加人数134名、小劇場において、実演をまじえて琉球舞踊について解説を行った。

(2) 寄付金の実績

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

（単位：千円）

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	金額	1,450	0	280	1,730
収入	件数	22件	0件	18件	40件

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

（単位：千円）

		職 場
募金収入	金額	380
	件数	95件

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（環境整備事業）

沖縄県の助成事業を活用して、観光客が円滑に周遊・移動できる仕組や県民を誘客するための仕組の構築、効果的な宣伝方法の検証等を目的に次の取組を実施した。

ア バス運行実証事業

(ア) 団体バス無料チャーターサービス

10人以上の団体客を対象に、公演当日に無料でバスを配車して劇場まで送迎を行うサービスを実施。57公演で延べ57団体・バス83台・2,791人が利用した。そのうち、12月から対象とした旅行社によるツアー団体は2社7団体・348人の利用があった。組踊関連公演での利用が26団体あり、組踊公演の売上率も68.3%で、前年度と比較して16.2%の増となっており、当該サービスの一定の効果があったと考えられる。

(イ) 巡回バス無料サービス

那覇市内4カ所のモノレール駅を経由した劇場までの巡回バスを運行した。55公演で延べ858名が利用があり、(平均15.6人)「県外居住者」の利用状況は22%であった。観光客が円滑に周遊移動できる仕組みとしては一定の効果はあったと考えられるが、効果としては、お客の新規獲得よりは、既存のファンへのサービス向上としての側面が強いものとなっている。

イ 修学旅行等誘客活動事業

(ア) 県内外旅行社の修学旅行及びツアー造成担当者を招いた組踊鑑賞・意見交換会の実施

(イ) 県内旅行社エージェンツ会議等への参加、取組説明

(ウ) 東京、大阪での修学旅行説明会への参加

(エ) 県内主要ホテルへのチケット販売に関するヒアリング及び協力依頼

ウ 県外PR事業

(ア) 「ふるさと祭り東京」への出展

(イ) 「沖縄観光&M I C E コンテンツフェア及び沖縄ナイト（大阪・東京）」への出展

(ウ) グランシップ静岡・歌三線公演での出展

(4) グランシップ主催公演の制作協力事業

公益財団法人静岡県文化財団から平成25年度グランシップ主催事業「うたさんしん〜琉球の宴〜(プレ公演平成26年2月1日、本公演平成26年2月21日)」の公演制作等業務を受託した。

(5) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 平成25年度アクセス件数 374,989件(1日平均1,027件)

イ メールマガジン(月1回発行)登録件数505件